

地元で発見！あんな店、こんな店／

米粉ベビーカステラと台湾かき氷

鈴屋

東京都足立区関原2-35-25

03-5650-4939



公式Instagram

営業時間：11:00-17:30

(平日 14:15-15:15 休憩)

定休日：月曜日、祝日

(冬季日曜 15:00 まで)

人気No.1『ベビーカステラ』



ふんわり食感と
控えめな甘さが魅力の、
何個でも楽しめる
味わいでした。

店長さんに

インタビュー

Q | お店の名前の由来を教えてください。

「鈴屋」という店名には、いくつかの想いが込められています。

看板商品のベビーカステラが鈴のような形に見えることに加え、店主のお子さま二人の名前に共通して

「鈴」の字が入っていることが由来のひとつです。

また、「屋」には“家”という意味を重ね、お子さまたちの居場所や成長を見守る家のような存在でありたいという願いも込められています。

家族への想いと、親しみやすいお店づくりへの願いが詰まった店名です。

店長おすすめ！
『台湾かき氷』



マンゴー



ヨーグルト

Q | どのようなお客様が多いですか？

鈴屋には、ファミリー層のお客様が多く訪れています。

近隣にお住まいの方をはじめ、SNSをきっかけに遠方から足を運んでくださる方も増えています。

特に、子育て世代のママさんからのご利用が多く、お子さまと一緒に楽しめるお店として親しまれています。

Q | 店長の想いを教えてください。

子育て中に誰かと話せる場所の大切さを実感し、誰かがほっとできる居場所をつくりたいという想いでお店を始めました。どこか懐かしくて、帰り道につい立ち寄りたくなるような場所。米粉で作ったベビーカステラの甘い香りとともに、人の温かさや昔ながらの優しさを感じてもらえるお店を目指しています。



ふくみみ

vol. 74
2026.9

◆発行所：医療法人社団福寿会
◆電話：03-5681-0336
◆編集担当：福寿会本部 総務課

◆住所：足立区梅田7-32-6
◆FAX：03-5681-8080
◆お問合せ：soumu@mail.fukujikaigr.or.jp

information

居宅介護支援事業所 新規開設のお知らせ

🏠 ふくろう居宅介護支援センター田端

〒 東京都北区田端4丁目1-14 ザ・メイフラワー1階

☎ 未定

👤 桶谷智恵子（所長）

🏠 ふくろう居宅介護支援センター谷在家

〒 東京都足立区谷在家三丁目20番1号 MIWAビル3階

☎ 03-5673-4818

👤 篠崎映子（所長）

2026年10月上旬

OPEN!

福寿会公式ゆるキャラ 決定しました！

名前の投票を行います！



種族

白鷺の妖精

出身地

福寿会のどこかにある、秘密の湖

好きなもの

福寿会カレー・笑顔・みんなで過ごす時間

誕生秘話

福寿会のどこかにある、秘密の湖。

そこには、患者さんや利用者さん、ご家族、職員など、福寿会に関わる人々の「元気になりたい」「笑顔でいたい」という想いが集まると言われています。たくさんの願いが光となったある日、卵から孵りました。



候補の中から、ぴったりだと思う名前に投票してください！
右のQRコードからご投票ください。



医療法人社団
福寿会

<https://www.fukujikaigr.or.jp/>

法人HP



Instagram



YouTube



福寿会秋祭り

開催します！

日程 2026年10月9日(金)

時間 18:30～20:00

場所 西新井本町公園 ※雨天時：看護学校
東京都足立区西新井本町5-7

食事

模擬店：400円 / 5品

ドリンク

アルコール飲料：200円 / 杯
ソフトドリンク：Free

⚠ チケット購入制のため、会場受付で購入してください。

- ✓ ごみは分別し、所定の場所に捨ててください。
- ✓ 会場および周辺での喫煙（電子タバコ含む）は禁止です。



※雨天時会場
看護学校

西新井本町公園

近隣住民のご迷惑にならないよう、
皆様のご理解とご協力
何卒よろしくお願いいたします！



あの人に聞きたい！

「眠っている間」も、患者さんの命を守る

～麻酔科医から集中治療医へ。中山副院長が大切に「その人らしい医療」～

手術のとき、患者さんを眠らせ、痛みを感じないようにする麻酔科医。中山副院長は、長年にわたり麻酔科と集中治療室（ICU）の両方で、重症患者さんの治療に携わってきました。

「麻酔は、決められた方法を全員に当てはめればよいというものではありません。年齢や体の状態だけでなく、宗教や文化、家族との関係なども含めて、その人に合わせて考えることが大切です」

中山副院長が目指すのは、「患者さん一人ひとりに合わせた医療」。それは手術の麻酔だけではなく、ICUでは、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、臨床工学技士など、多くの専門職が一つのチームとなって患者さんを支えます。

「医師だけが上から指示を出す時代ではありません。それぞれの専門家が持っている知識を出し合うことで、医師だけでは気づけないことにも気づけます。だから、できるだけ立場をフラットにして、みんなの意見を聞くようにしています」

長い医師人生の中で、患者さんへの向き合い方も大きく変わったといいます。

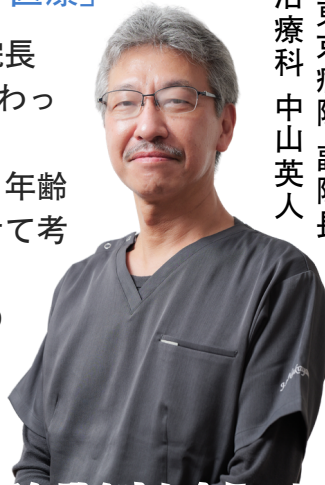
「若い頃は、医師として自分が何とかしなければ、という気持ちが強かった。でも今は、自分を偉いと思ったら終わりだと思っています」

特に大切にしているのが、患者さんやご家族の価値観を理解すること。治療方法をただ「AとB、どちらにしますか」と提示するのではなく、その人が何を大切にしているのかを考え、医療者として一緒に方向を考えていくことが必要だと話します。

「患者さんがどんな人生を歩んできたのか、家族とどんな関係なのか。全部を知ることはできません。でも、できる限りその人のことを考えて治療をしたい」

そんな中山副院長の素顔は、実は料理好き。和食・洋食・中華と何でも作り、自宅には包丁が15本ほどあるそうです。学生時代にはバンド活動にも熱中し、大学ではジャズバンドで演奏していたという意外な一面も。豊富な経験と専門知識を持ちながら、患者さんを一人の「人」として見つめる。その姿勢こそが、中山副院長の医療を支えています。

福寿会東京病院 副院長
集中治療科 中山英人



福寿会 FJK PLAY BACK チャンネル

福寿会では、公式YouTubeチャンネル「FJK_福寿会チャンネル」を開設しました。これまでに公開した動画の一部をご紹介します。



平先生 × 植木先生 対談

福寿会東京病院 名誉院長の平孝臣先生と、福寿会看護部顧問の植木理恵先生による対談企画。

全4本を公開中。第1回は「ジストニア」、第2回は平先生の経験や人柄についてお話しただいています。

福寿会の歴史をたどる

福寿会が歩んできたこれまでの歴史を、創設から現在までの歩みとともにご紹介。福寿会のルーツや、これまで受け継がれてきた想いをお伝えしています。

医師が解説！AEDの使い方

福寿会病院 院長の三浦邦久先生が、AEDの使い方をわかりやすく解説。もしあなたが、目の前で人が倒れる場面に遭遇したら？ いざというときに役立つAEDの基本操作を動画でご紹介しています。



熱中症予防など、ショート動画も公開中！
今後もさまざまな動画を通して、
福寿会の取り組みや魅力をお届けしていきます。

★ チャンネル登録・高評価とても励みになります！



公式YouTube